

公文書管理の在り方等に関する有識者会議の開催

国立公文書館統括公文書専門官室

新たな文書管理法制の在り方を含む、国の機関における文書の作成から国立公文書館への移管、廃棄までを視野に入れた文書管理の今後の在り方及び国立公文書館制度の拡充等について検討を行うため、内閣において、公文書管理の在り方等に関する有識者会議が開催されています。

平成20年2月29日、内閣官房長官決裁による「公文書管理の在り方等に関する有識者会議の開催について」に基づいて行われるもので、構成員は右のようになっています。



第1回（3月12日）

18時から中央合同庁舎4号館共用第4特別会議室で開催された第1回会議においては、上川大臣の開会挨拶、山本副大臣・戸井田政務官の挨拶、各メンバー自己紹介及び政府側メンバー紹介の後、有識者の互選により尾崎護氏が座長に選任された後、座長の指名により、宇賀克也氏が座長代理に選任されました。

公文書管理の制度の現状について、山崎内閣官房公文書管理検討室長から資料に従い説明の上、フリートーキングを行いました。

国立公文書館の体制整備、中間書庫やデジタルアーカイブ化についても議論すること、グローバルスタンダードに立った文書管理の必要性などが話題となったほか、6 - 7月の中間報告、10月の最終とりまとめの方向で、次回は3月下旬～4月に開催とされました。

あさくら 朝倉	としお 敏夫	(読売新聞東京本社専務取締役論説委員長)
うが 宇賀	かつや 克也	(東京大学大学院法学政治学研究科教授)
おざき 尾崎	まもる 護	((財)矢崎科学技術振興記念財団理事長)
かとう 加藤	たけお 丈夫	(富士電機ホールディングス相談役)
かとう 加藤	ようこ 陽子	(東京大学大学院人文社会系研究科准教授)
ごとう 後藤	ひとし 仁	(神奈川大学法学部教授)
たかはし 高橋	しげる 滋	(一橋大学大学院法学研究科教授)
たかはし 高橋	のぶこ 伸子	(生活経済ジャーナリスト)
のぐち 野口	きくみ 貴公美	(中央大学法学部准教授)

第2回（3月31日）

会議は第1回同様の場所・時間で開催されました。国立公文書館制度の拡充等について、資料の説明及び自由討議が行われました。並行してどのような業務（機能）を担うのかを検討することが必要とされました。今後海外の事例や現在調査を行っている各省庁の実態等も合わせて総合的な議論が期待されます。大臣・政務官等積極的に発言され、熱意を感じる回となりました。

会議の詳細は次をご参照ください。 <http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/koubun/index.html>